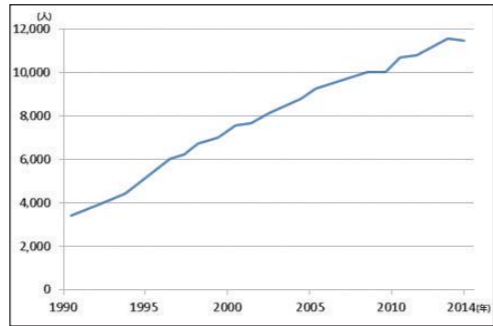


「前立腺がん」についてご説明します。

その人たちの多くは、検診や人間ドックで血液検査を受けて前立腺がんを疑われ、組織検査を受けられた方々です。

前立腺がんになるとほとんどの人の血液中のPSA値が高くなります。つまり、前立腺がんを早く見つけるためにはPSA検診を受けることが大切です。ただし、PSA値は前立腺に炎症のある人や前立腺の大きい人など、がんでなくても高くなる場合があります。そのためPSA値が高い人は、がんのあるなしを診断するためMRI検査や前立腺生検（当院では2泊3日か1泊2日で行っています）を受ける必要があります。



死亡率

● **放射線療法**
外来通院での治療が可能です。手術と並んでがんの完治（完全に

● **ホルモン療法**
前立腺がんには男性ホルモンを抑える治療が有効です。75歳以上の患者さんや転移のある方などに多く用いられる治療です。手術とは違いからだにキズを付けたり、入院の必要のない利点があります。一方で完全にがんを治せないケースや効かなくなる可能性があります。副作用としての更年期障害、発汗、長期使用による骨粗しょう症の発症、心・血管系障害などが問題となります。

● **手術療法**
もっとも完治が期待できる治療法と考えられます。入院の必要がありません（約2週間）。ロボットを用いた内視鏡手術が普及したことで、より精度が高くなったことへの負担の少ない治療が可能となりました。



ダヴィンチ(手術支援ロボット)

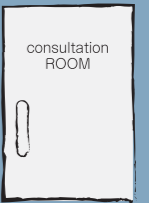
● **化学療法**
第一選択にはなりにくい治療法です。ホルモン療法が効かなくなった患者さんに使われることが多い治療ですが、近年、新しい抗がん剤も使用可能となり生命予後の改善が期待されています。

● **放射線療法**
第一選択にはなりにくい治療法です。ホルモン療法が効かなくなった患者さんに使われることが多い治療ですが、近年、新しい抗がん剤も使用可能となり生命予後の改善が期待されています。



泌尿器科 科長
細井 隆之
ほそい たかゆき

きょうは
泌尿器科
です



こんにちは
診察室です。

前立腺がんについて

はじめに

泌尿器科で診察する臓器は、腎臓・尿管・膀胱・前立腺・副腎・尿道・精巣など多岐にわたりますが、日常診療で前立腺に関わる病気が全体の半数以上にのぼります。なかでも前立腺肥大症と前立腺がんがその大半を占めています。前立腺肥大症は加齢とともに大きくなった前立腺が尿道を圧迫することでオシッコの出が悪い、夜間何度もトイレに起きる、残尿感を感じる、ひどい時にはオシッコを出せない（尿閉）などの症状を起こします。また、前立腺がんは進行すると骨に転移して痛みが

前立腺ってなに？

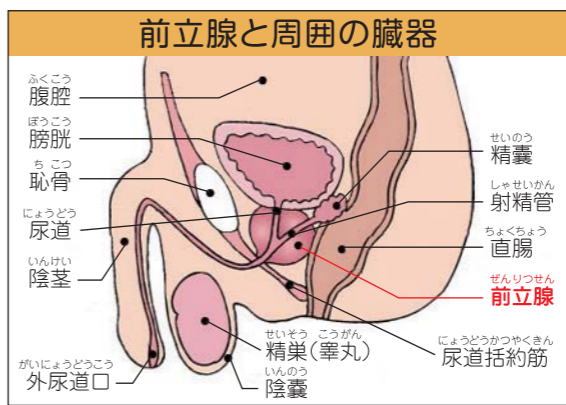
前立腺は精液の一部を分泌する器官で、膀胱の出口に位置して尿道をとりまくように存在します。

出たり、血尿の原因になったりする病気ですが症状が出るのはあくまで進行してからで、初期の段階では何の症状もみられません。前立腺がんにかかる患者さんの数、その死亡率は年々増加しています。前立腺自体よくわからないという人も多いかと思えます。

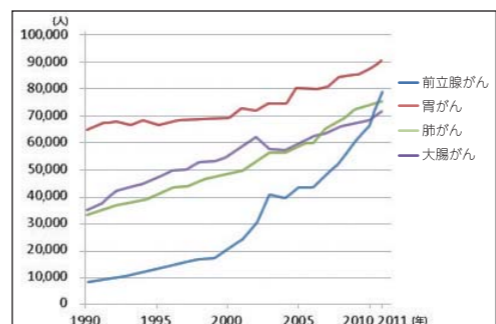
本日は前立腺がんについて簡単にお話させていただきます。

診断

以前は腰痛や排尿障害・血尿などで病院を受診され、進行した前



前立腺



罹患率

立腺がんが見つかる患者さんがたくさんいました。現在でも進行して見つかる患者さんもいますが、症状の出る前に受診されてがんが治る患者さんもたくさんいます。